



11月号(7)
2025.11.13(木)

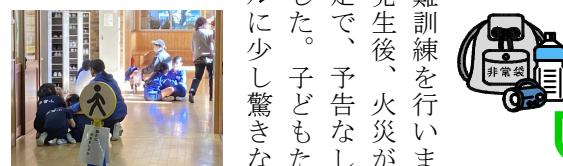
文責 本宮小校長 佐久間仁

学習発表会を終えて✓

◇学習発表会を終えて、私がこれまで学んできたことは、一つあります。

一つ目は、みんなの力を合わせれば、大きな力になるということです。ゆうとさんのセリフは本当だと思ったし、いい発表会になつたからうれしかつたで

避難訓練



今年度二回目の避難訓練を行いました。今回は「地震発生後、火災が発生した」という想定で、予告なしで昼休みに実施しました。子どもたちも、指示に従つて素早く身を低くし、命を守る行動をとりました。また「避難開始」の合図で速やかに第三校庭に避難することができました。高学年は、低学年の手を引くなど、「自助」「共助」を実践する姿が見られました。全体会では、地域防災マネージャーさんから講話をいただきました。「おかしもち」が実践できた振り返りました。災害はいつどこで起ころ 分かりません。日ごろからの備えの大切さを学ぶことができました。

交通安全作文

(コンクール入賞作品)



小さいのちをまもる

三年 酒井星斗奈

す。みんなの力を合わせて、歌は大きな声になつたし、げきやセリフもいろいろなくふうができるよかったです。これまでに学んできたことを、これからもいかしていきたいです。(四年 環奈)

毎日、テレビの中で、かなづながれる、交通事故の悲しいニュース。どうしていつも事故にあるのかな、どうすれば事故にならなかつたのかな、と考ふることがありました。わたしは、保育所や小学校などの交通安全教室で、きけんな事故や自分のお力をまもる大切さを学び、考え

ねる余がありました。そんな中、たしが小学一年生の時に体けんした出来事について話そうと思います。学校帰りに、母と家の近くのお店で買い物をしている時、わたしの妹より小さい男の子がお母さんと買い物をしているのを見かけました。男の子は、元気でかわいい子で、わたしの母と、「元気な子だね。」

と話していたことをおぼえていま

す。母と買い物をおわらせて会計がおわり、ふくろに物をつめていた時です。ふととなりを見ると、その小さい男の子のお母さんがレジで会計をしていました。男の子のお母さんは、会計に集中していて、男の子がかつてにお店の外へ行こうとしていることに気づいていませんでした。そして、男の子は、お母さんが気づかないうちに、かつてにお店の外へ出でていつてしまつたのです。このままで、男の子が車にひかれてしまうかもしない、誰かに連れていかれてしまうかもしない、と心配になりました。

わたしは、母に向ひ言わらず、いそいで男の子をおいかけていきました。わたしは、母に向ひ言わらず、いそいで男の子をおいかけていきました。男の子は、もうお店の外について、もう少しで道端に出でてしまつといろでした。わたしは、「あぶないよ。お母さんは、まだお店の中だから、むひひいね。」

と声をかけ、男の子をだっこして、お店の中へ連れていきました。男のお母さんが気づき、男の子のお母さんは、わたし、「ありがとうございます。」

とおれいを言つてくれました。わたしは、助けてよかったです。わたしのことをしたのだとと思いました。学校に、男の子のお母さんから、助けてもらつたおれいの電話があつたようで、校内放送で、「お店をとび出した男の子を助けた女の子がいる。」との話がありました。放送を聞いて、わたしのことだとと思いました。わたしは、助けてよかったです。いいことをしたなど感じて、とてもうれしい気持ちになりました。あの時、もしわたしになつたなら、男の子はけしが気づかずにいたら、男の子はけがをしたかもしないと思うと、悲しい気持ちになります。

わたしのいのちだけではなく、わたしが気づくことで助けられるいのちもあるということを、体けんから学ぶことができました。一人ひとりが気をつけることで、助かるいのちがあることも分かりました。一人ひとりが気をつけて、事故のない世界になることをねがつています。

※星斗奈さんの行動は素晴らしいです。なお作品は、南達交通安全大会(十一月十五日サンライズもとみや)で表彰される予定です。入賞誠におめでとうございます。

